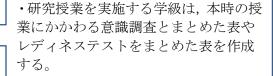
児童の実態把握 (学級)



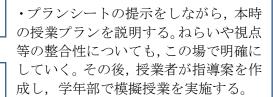
| | 等数の学習では、自分から進ん | で問題を解こうとしていますか。 で問題を解こうとしていますか。 | を を を を を を を を を を を を を を を を を り に り と り と り と り と り と り と り と り と り と | ありますか。 ありますか。 | ノートに書こうとしていますか。 | の時間に取り組んだよい方法を使 を集の最後に行う問題では、そ |
|-----------------|----------------|------------------------------------|---|------------------|-----------------|-----------------------------------|
| 4231 | 21.45 | 28 45 | 19.6 | 0.6 | 19-6 | 19 & |
| どちらかとい えばはい | 14名 | 10名 | 16 % | 21.6 | 13.6 | 17:8 |
| どちらかとい えばいいえ | 3 % | 0 % | 3 & | 16 % | 5名 | 1.6 |
| sist. | 0.% | 0.46 | 0.8 | 3.% | 1.6 | 18 |

プランシートの提示

・授業者は、本時の授業内容やねらい、 児童の実態等を説明し、他の学級所属の 教員にプランシートの作成を促す。



プランシートを活用して、事前検討会





先行授業 (全校授業研究会・ 学年部授業研究会) ・先行授業を実施する前に,指導案の検討を再度,学年で行う。指導案を作成した学級以外のクラスで,先行授業を実施する。



事後検討会 (全体・学年部) ・全校での事後検討会を実施する際, マトリックス表を活用した話し合いを 行う。今年度は東北福祉大学石原教授 に指導助言を頂く。



学年ごとに指導案の 再検討 ・事後検討会での成果と課題を踏まえ、 指導案の再検討を行う。さらに、研究授 業の教員が他の学級で代行授業を行う。



研究授業〈指導主事学校訪問〉(学年部・全体)

・先行授業や代行授業での成果と課題を 踏まえ、研究授業を行う。今年度は、6 月と9月の指導主事学校訪問と11月の 公開研究会で実施。



研究協議会 (学年部・全体) ・全校や学年部でマトリックス表を活用した事後検討会を実施。成果と課題を明確にし、日々の授業や次の研究授業に行かせるようにする。

